

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1282
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	農地転用等事業				
根拠法令等	農地法等		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	農業及び農地に関わる市民に
手 段	農地転用等の許可・受理を行い
想定する成果	農地の保全と秩序ある開発を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
農地転用等件数	289 件	325 件	-
農地転用等面積	130,981 m <sup>2</sup>	157,475 m <sup>2</sup>	-

成果指標

成果指標名	農地転用等件数実績伸び率	農地転用等面積実績伸び率
成果指標の説明	$(\text{当年度} - \text{前年度}) / \text{前年度} \times 100$	$(\text{当年度} - \text{前年度}) / \text{前年度} \times 100$

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	10.0	12.5	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	32.2	20.2	-
事業費	事業費	339	262	276
	人件費	8,044	7,784	7,889
	(人数)	1.00	1.00	1.00
	合計	8,383	8,046	8,165
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	33	44	32
	一般財源	8,350	8,002	8,133

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	必要者からの申請による許認可事務で、目標を立てることにそぐわない
経済効率性	2	2	2	2	費用に対する効果が直接的に表れない
事務効率性	2	2	2	2	申請内容別に担当者を配置している
必要性	2	2	2	2	土地利用を調整し、無断転用等の防止を図るため必要
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	農業の最も基礎となる農地の保全のために有効
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	法定業務で、蒲郡市独自の指針を示すことはできない
------	---	---	---	---	--------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
一時期に事務が集中しないように、書類の締切日と申請者との面接時期をずらして事務の平準化をした。	

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一的な見解が示せる事務のマニュアル化</li> <li>・調査資料等の作成を迅速化するために、農地地図システムの導入及び農家台帳システムのバージョンアップ</li> </ul>
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
事業コード		事務事業名	畜産関係団体補助事業	
根拠法令等			A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	畜産農家に
手 段	事業継続支援の補助金を交付することにより
想定する成果	畜産業経営の安定化と生産の継続を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
補助金額	331千円	330千円	332千円
補助対象事業費	6,895千円	6,613千円	5,908千円
飼育頭数(牛・豚)	80頭	85頭	85頭
〃（鶏）	45,000羽	46,000羽	45,000羽
畜産農家数	4	4	4

成果指標

成果指標名	補助割合	畜産農家伸び率
成果指標の説明	補助金額 / 補助対象金額 × 100	(今年度 - 前年度) / 前年度 × 100

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	5.7%
	実績	4.8%	5.0%	-
成果指標	計画	-	-	0.0%
	実績	0.0%	0.0%	-
事業費	事業費	359	357	439
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,968	1,914	2,017
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,968	1,914	2,017

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	畜産農家の経営安定に役立った。
経済効率性	2	2	2	2	畜産物の価格が低迷している中、畜産経営安定の一助となっている。
事務効率性	2	2	2	2	一人の職員で効果的に実施している。
必要性	2	2	2	2	畜産農家の経営安定と、食の安心・安全のためにも重要な役割を果たしている。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	農林業振興のためにも、消費者に対する食の安全性確保のためにも貢献度は大きい。
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	対象農家は少数ではあるが、良質な畜産物の生産には欠かせない事業である。
------	---	---	---	---	-------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度に畜産農家の減少で、畜産組合に対する運営費補助金35千円をカットし、新たにBSE対策費補助金35千円を計上した。	±0%

今後改善すべき点

蒲郡市畜産組合は実質4戸(牛2戸、豚1戸、鶏1法人)であるが、うち2戸は高齢化しつつあり、1戸は兼業(牛)である。 少ない補助金ながらも畜産業の衰退を食い止めたい。
---

平成20年度予算に反映する項目

鶏卵価格安定対策事業は県が補助する事業で、鶏インフルエンザ発生時に卵価下落を防ぐことができる。牛・豚に対しては、伝染病に対する受診の促進とBSE対策のみの補助であるので、現状を維持したい。
--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	米政策対策事業		
根拠法令等	水田農業構造改革対策実施要綱	A 法令	B 条例	C 規則	D その他
					E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	水田で野菜類を生産したり、農地として保全した農家に
手 段	助成金を交付し
想定する成果	水田の土地利用効率・生産性の向上による農業経営の安定を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
作付確定面積	76ha	71ha	-
転作実施面積	3.3ha	3.8ha	-
生産数量目標配分対象農業者数	444人	448人	-
実施計画提出農業者数	19人	20人	-

成果指標

成果指標名	補助対象転作率	生産調整参加率
成果指標の説明	転作実施面積/作付確定面積 × 100	実施計画提出農業者数/生産数量目標配分対象農業者数 × 100

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	4.3%	5.4%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	4.3%	4.5%	-
事業費	事業費	221	188	131
	人件費	4,826	4,670	4,733
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	5,047	4,858	4,864
財源内訳	国			
	県	221	188	131
	市債			
	その他			
	一般財源	4,826	4,670	4,733

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	蒲郡市の転作率は基準を上回っている。
経済効率性	1	1	1	1	国の政策に基づき実施している。
事務効率性	2	2	2	1	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	1	1	1	1	計画的な米生産を図るため、補足的な役割を果たしている。
小計	6	6	6	5	
施策への貢献度	1	-	1	-	果樹生産が中心のため、本市にはなじまない制度ではあるが、国の政策へ参加することで貢献はしている。
合計	7	6	7	5	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	C	C	水田農業が零細な当市においては、全国一律の施策にはなじまない。
------	---	---	---	---	---------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年度からは、「水田農業構造改革交付金」として、地域条件に応じた水田農業確立を目指す取り組みに対して交付されるようになった。 具体的には、登記地目が田で、水稻を作付けしていない、グリーンセンター・Gメイツふれあい市の会員に対して交付する。	推進事業事務費 H15...970千円 H18...131千円

今後改善すべき点

平成19年度までは、市が農家に対して生産目標数量を配分していたが、平成20年度からはJAから農家へ配分してもらうよう事務改善する。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市民農園管理運営事業				
根拠法令等	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	農業体験を希望する一般市民に
手段	1区画20㎡と100㎡の市民農園を貸し付けることにより
想定する成果	農業への理解を深めてもらう。

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
市民農園区画数	56	34	34
市民農園利用件数	53	32	
市民農園利用料	280,170	162,710	190,000
年間管理費	488,304	96,923	367,000

成果指標

成果指標名	市民農園利用率	経費割合
成果指標の説明	利用件数/区画数 × 100	市民農園利用料/年間管理費

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	94.6%	94.1%	-
成果指標	計画	-	-	113.8%
	実績	116.0%	174.9%	-
事業費	事業費	488	97	367
	人件費	3,218	3,114	3,156
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	3,706	3,211	3,523
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	280	163	190
	一般財源	3,426	3,048	3,333

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	遊休農地の解消にも役立った。
経済効率性	3	3	2	2	管理費は利用料で充分まかなえている。
事務効率性	2	2	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	2	1	市民のニーズは高い。健康増進・食に対する認識を高めるためにも必要である。
小計	9	9	8	7	
施策への貢献度	2	-	2	-	農家戸数が減少する中で、農業のことを少しでも理解してくれる人が増えることは重要と考える。
合計	11	9	10	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	B	遊休農地の解消策としても、食育の一環としても有効な事業である。
------	---	---	---	---	---------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年9月より、市・農協以外でも市民農園が開設できるようになったことを受け、平成18年度より補助金制度を創設した。農家やNPOでも開設できることを受け、平成18年度より工事請負費の計上をやめた。	工事請負費 平成18年度より 250千円

今後改善すべき点

農家、NPOが開設できることのPRを強化し、市民農園の数を増やしていきたい。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
事業コード		事務事業名	農道新設改良事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則
		D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	農業従事者と住民に対して
手 段	農道の整備及び改修をすることによって
想定する成果	農道施設の適切な状態を維持し、農道の保全と環境の向上を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
側溝整備	80箇所 373m	87箇所 366m	-
農道舗装補修	26箇所 1,286㎡	22箇所 948㎡	-

成果指標

成果指標名	地区要望実施率	-
成果指標の説明	施工実施箇所数 / 地区要望箇所数 × 100	-

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	93.2%	85.9%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	19,612	18,625	21,200
	人件費	7,240	7,006	7,100
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	26,852	25,631	28,300
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	26,852	25,631	28,300

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	3	2	2	17年度、18年度の要望箇所は大方施工されたが、一部に地元調整が必要な箇所があった。
経済効率性	2	2	2	2	草刈、浚渫、軽微な補修等は地域住民（受益者）により実施することが望ましい。
事務効率性	2	2	2	2	要望事項に対し、総代（地域住民）と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	2	2	農業従事者及び市民が利用する道路であり、維持管理は市及び受益者が行うべきである。
小計	8	9	8	8	
施策への貢献度	3	-	2	-	農道の維持管理の必要性が、農業従事者及び地域に浸透している。
合計	11	9	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	農業の担い手が減少してきている現在、地域及び農家（受益者）が道路及び農地の草刈等の環境整備、軽微な補修は期待出来なくなりつつある。農道の必要性を考慮し、維持管理のために地域住民、農家と市（改良区、農業委員会）が連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
市の管理体制に加え、農家、地域住民、総代等の各関係者が農道施設の危険箇所を通報してくれる体制を整えたことにより、環境整備、維持補修の早急な対応が取れるようになった。	

今後改善すべき点

農道は農家が農作業用に主として利用しているが、昨今では通勤時等一般市民も多く利用するようになってきた。受益の公平性を確保するため、農家だけではなく地域全体で農道の環境整備を行い、維持管理をしていく必要がある。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
事業コード		事務事業名	水路改修事業	
根拠法令等			A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	農業従事者と住民に対して
手 段	水路の整備及び改修をすることによって
想定する成果	水路施設の適切な状態を維持し、水路の保全と環境の向上を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
水路改修	水路改修 L = 54.5m 小規模水路改修 6箇所	水路改修 L = 298m 小規模水路改修 4箇所	水路改修 L = 40m 小規模水路改修 10箇所

成果指標

成果指標名	地区要望実施率	-
成果指標の説明	施工実施件数 / 地区要望件数 × 100	-

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	100.0%	100.0%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	3,922	39,823	7,000
	人件費	7,240	7,006	7,100
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	11,162	46,829	14,100
財源内訳	国		10,200	120
	県		10,200	120
	市債			
	その他		10,200	120
	一般財源	11,162	16,229	13,740

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	前年、当年度の要望箇所は計画どおり施工された。
経済効率性	2	2	2	2	水路施設が改修され、施設延命が図れる。
事務効率性	2	2	2	2	要望事項に対して、地域、総代と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している。
必要性	2	3	2	2	農業地域内の農作物栽培に必要な水路施設であり、維持管理は行う必要がある。
小計	8	9	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	水路改修により、田畑への浸水をくい止め、排水を容易に出来るようになった。
合計	10	9	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	農業の担い手が減少してきている現在、地域及び農家(受益者)が水路及び農地の草刈等の環境整備、軽微な補修は期待出来なくなりつつある。水路の必要性を考慮し、維持管理のために地域住民、農家と市(改良区、農業委員会)が連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
市の管理体制に加え、農家、地域住民、総代等の各関係者が水路施設の危険箇所を通報してくれる体制を整えたことにより、環境整備、維持補修の早急な対応が取れるようになった。	

今後改善すべき点

農業用水路は農家が農作業用(農作物栽培)に主として利用しているが、近年の住宅事情により家庭排水と農業用水の混在が起きており、水管理の問題が提起される。維持管理に関して良質な家庭排水処理に務めて、良好な水路、水質を確保するため、地域住民及び農家(受益者)が水路の浚渫・草刈等の環境整備及び軽微な補修は利用者、総代区等で施工し、農業水路の保全と環境の向上を確保していく必要がある。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	とよおか湖公園維持管理事業		
根拠法令等	蒲郡市都市公園	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	住民と来園者に対して
手 段	公園の維持・管理・補修をすることによって
想定する成果	公園施設の適切な状態を維持し、公園及び周辺の保全と環境の整備を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
施設規模	公園面積1.9ha 便所、東屋、遊具、親水施設、植栽、芝生広場A=4800m <sup>2</sup>	公園面積1.9ha 便所、東屋、遊具、親水施設、植栽、芝生広場A=4800m <sup>2</sup>	指定管理者制度導入
維持管理委託料	都市施設管理協会 5,166千円	都市施設管理協会 5,166千円	

成果指標

成果指標名	維持管理委託料	1日平均利用者数
成果指標の説明	維持管理委託料	1日平均利用者数

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	5,166	5,138	-
	実績	5,166	5,079	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	29人	45人	-
事業費	事業費	7,480	7,154	
	人件費	3,218	2,335	0
	(人数)	0.4	0.3	
	合計	10,698	9,489	0
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,698	9,489	0

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	ほぼ目標どおりの維持管理が達成されたが、一部施設に対して苦情があった。
経済効率性	2	2	2	2	投入された予算にほぼ見合った効果をあげている。
事務効率性	2	2	3	2	投入された人員にほぼ見合った効果をあげている。
必要性	2	2	2	2	自然を満喫でき、誰もが自由に利用できる施設であり、公園としての維持管理業務は必要である。
小計	8	8	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	市の公園の中では広い多目的広場があり、とよおか湖と併用し楽しめる公園にしていくことが大事である。
合計	10	8	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	A	B	自然に親しめ、四季を感じることでできる公園として適切な維持管理を行い、市民に潤いとやすらぎを与える施設として維持管理事業は必要である。管理基準(不快を与えない程度)が明確でないので、効果が把握できない部分がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
機械施設、草刈、芝刈、低剪定等日常的な公園管理を都市施設管理協会と年間契約し、専門的な親水施設浄化槽等の清掃、点検は民間機関と委託契約を結び運営している。	

今後改善すべき点

平成19年度から指定管理者制度を導入し、コスト縮減を図る。
-------------------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	松くい虫防除事業		
根拠法令等	蒲都市松くい虫薬剤防除補助金交付要綱	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	防除する松の所有者又は管理者のために
手 段	松くい虫被害を防除（樹幹注入）することによって
想定する成果	観光及び緑地保全等の由緒ある銘木の松を、松くい虫被害から防除し環境の保全を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
実施箇所	市施工、さがらの森、1地区37本、補助施工2地区	若宮神社前、南部市民センター2地区30本、補助施工7地区	竹島園地外4、5地区55本 補助施工5地区
要望箇所	3地区	7地区	10地区

成果指標

成果指標名	地区要望実施率	補助率
成果指標の説明	施工実施箇所数 / 地区要望箇所数 × 100	補助金額 / 対象事業費 × 100

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	100.0%	129.0%	-
成果指標	計画	45.0%	45.0%	-
	実績	45.0%	45.0%	-
事業費	事業費	2,080	1,332	1,611
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	4,493	3,667	3,978
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,493	3,667	3,978

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	2	2	前年、当年度の要望箇所は計画どおり施工された。追加要望地区についても、検討の結果実施可能となった。
経済効率性	2	2	2	2	投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	要望箇所に対して、地域住民・総代等と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	3	2	観光資源及び緑地保全の由緒ある松を松くい虫被害から守り、環境の向上を図る必要がある。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	2	-	3	-	松くい虫から松を守ることで、環境保全・緑地保全にある程度の効果が望める事業である。
合計	11	9	12	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	A	B	松くい虫は、昆虫を媒介とする寄生虫による伝染病であるため、地域全体で取り組む必要がある。よって市のみならず個人所有者の自己保全意識も必要である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
松くい虫の大量発生のは時期は、空中・地上散布で施工していたが、国・県の補助金廃止や面積要件の制限により市単独の小規模対応の樹幹注入方式に変化してきた。現在はすべて樹幹注入であり、個別対応としている。	

今後改善すべき点

保全すべき松の実態調査を実施し、緑化保全、観光資源として松を守っていく。
--------------------------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
事業コード		事務事業名	有害鳥獣駆除事業	
根拠法令等			A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	有害鳥獣の被害を受けた農家のために
手 段	猟友会に有害鳥獣の駆除を委託し
想定する成果	農業経営の安定化を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
駆除実績(カラス、ドバト、ヒヨドリ)	羽 797	羽 878	羽 -
被害額	7,415千円	7,415千円	-

成果指標

成果指標名	駆除数増加率	被害額増加率
成果指標の説明	$(\text{今年度駆除数} - \text{前年度駆除数}) / \text{前年度駆除数} \times 100$	$(\text{今年度被害額} - \text{前年度被害額}) / \text{前年度被害額} \times 100$

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	30.6%	10.2%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	55.6%	0.0%	-
事業費	事業費	278	278	142
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,887	1,835	1,720
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,887	1,835	1,720

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	10月、3月に実施。特にみかんの収穫期の駆除は有効。
経済効率性	2	1	2	2	平成15年度から県費補助がなくなり、市単独事業となっている。
事務効率性	2	2	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	2	2	農家からの要望も強く、JAと連携をとりながら実施していく。
小計	7	6	7	7	
施策への貢献度	2	-	1	-	農作物の被害を減少させ、農業振興に貢献している。
合計	9	6	8	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	C	C	猟友会の協力がある事業である。
------	---	---	---	---	-----------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
事務事業評価により、平成18年度までの委託料276千円を平成19年度から140千円に減額した。	136千円

### 今後改善すべき点

さる、シカ、イノシシが出現した場合、今まではボランティアで応援してもらっていたが、特別鳥獣保護計画でイノシシ、さるの捕獲が必要になった時には改善を要す。特にハクビシンの被害は各戸で対応しているが、今後、市で対応をとるべき件数になった時には検討を要す。
---

### 平成20年度予算に反映する項目

ハクビシンの被害に対して、箱わなを購入する経費と、ハクビシン1頭当たりの処理費用を予算として計上したい。
--

### 今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	海浜清掃事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	農林業
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	2漁協に
手 段	海浜清掃を委託することにより
想定する成果	管内海域の漁場環境の保全を図る。

事業の概要

項 目	漁協名	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
ごみ処理量	西浦	0.95トン	0.70トン	-
	形原	0.77トン	0.75トン	-
	三谷	1.515トン	1.275トン	-
	合計	3.235トン	2.725トン	-

成果指標

成果指標名	ごみ処理実績伸び率	
成果指標の説明	$(\text{今年度} - \text{前年度}) / \text{前年度} \times 100$	

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	4.4%	15.8%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	600	600	200
	人件費	804	778	789
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,404	1,378	989
財源内訳	国			
	県	120	80	95
	市債			
	その他			
	一般財源	1,284	1,298	894

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	多くの漁民の参加を得て実施しているが、地域住民の環境保全意識向上にはつながっていない。
経済効率性	2	2	2	2	ごみ処理費用が高騰しているが、定額で委託している。
事務効率性	2	2	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	1	2	地域住民の環境保全意識の向上を図るためにも必要な事業である。
小計	7	7	6	7	
施策への貢献度	2	-	2	-	漁業を取り巻く環境が厳しい中、漁場確保の面からも貢献している。
合計	9	7	8	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	C	C	漁場環境を保全するためには欠かせない事業である。
------	---	---	---	---	--------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成18年度までは、市単独費にて海浜清掃を市内2漁協に委託していたが、19年度からは、県から入る分のみを実施することとし、19年度から1漁協（支所）ごとの持ち回りとした。	400千円

今後改善すべき点

県費が減額された場合の実施方法を検討する。
-----------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】